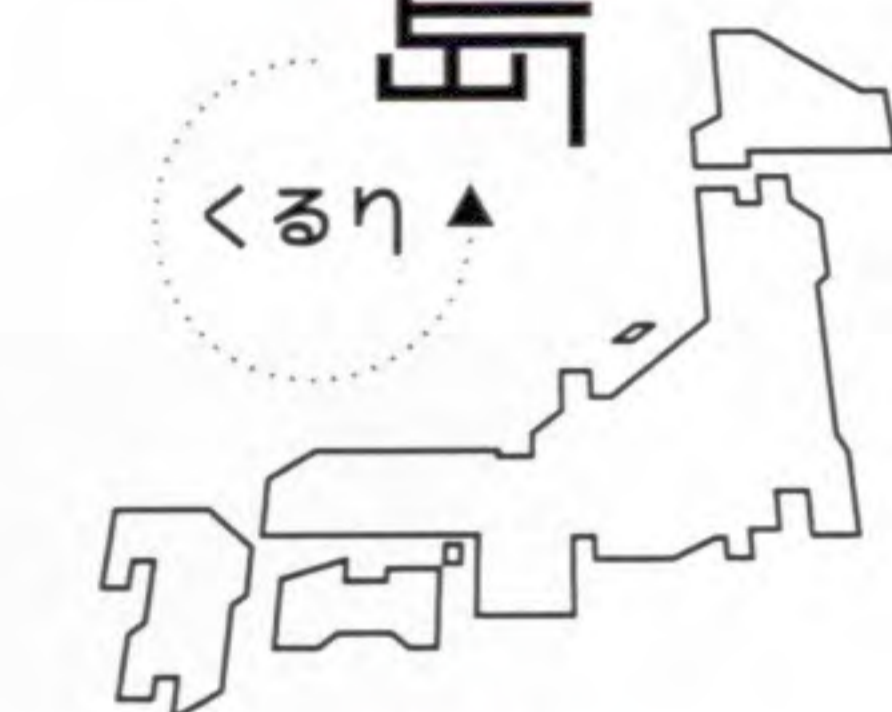


キャンピングカーで行く!!

# 日本列島



# 旅日記

## 旅人

成瀬 淳

年齢：61歳  
在住：福井県  
同行：妻、長女

## 旅クルマ

バーデンアルタモーダ  
(トイファクトリー)



●ハイエース最大の室内空間を誇るスーパーハイルーフに、素材やデザインにこだわった家具や内装を装備した、トイファクトリーのフラッグシップモデル。ハイマウントのリヤベッドは、頭上空間のゆとりやサイドウィンドウの拡張も含め、開放感抜群の仕上がりで、ベッド下は広大なラゲージスペースとして使用できる。

## 飛騨牛ぜいたく三味の 飛騨高山を行くクルマ旅

2018年4月29日

今回のクルマ旅は、ゴールデンウィーク期間中ということもあり、近くて短期間の旅行を計画し、飛騨高山へ向かうことに決定しました。娘が仕事を終えて帰宅した後、19時40分に出発。敦賀ICより北陸自動車道に入り、名神高速道路を経由し、東海北陸自動車道 ひるがの高原S

Aに22時30分ごろ到着。ここで小休憩をさせていただきました。

ひるがの高原SAは標高約860mに立地し、SA・PAのなかでは日本で二番目に高い場所にあり、夜は涼しく気持ちよく過ごすことができました。ちなみに日本で一番高い場所にあるのは、ひるがの高原SAより約20kmの位置にある松ノ木峠PAで、標高は1085mとなっています。

ます。

4月30日

今日も天気がよくて目の前に広がる大日ヶ岳や白山がとてもきれいでした。朝食を済ませたら出発します。本日の目的地である、日本で唯一の2階建てゴンドラに乗れる「新穂高ロープウェイ」(ルートガイド①)へ向かいました。



●今回の旅の最初の目的地である「新穂高ロープウェイ」は、日本で唯一の2階建てゴンドラです。西穂高口駅の山頂展望台から眺めた景色は絶景でした

新穂高ロープウェイは昭和45年に開業し、2つのロープウェイがあり、「第1ロープウェイ」が新穂高温泉駅から鍋平高原駅まで(約4分)の区間、鍋平高原駅から歩いてすぐのところにある、しらかば平駅から西穂高口駅まで(約7分)を、「第2ロープウェイ」がつないでいます。日本唯一の2階建てのゴンドラは平成10年に設置され、第2ロープウェイ

イにあります。

第2ロープウェイには鉄塔が3カ所あり、そこを通過するたびに2階建てゴンドラが大きく揺れます。私たちは1階に乗っていたので、遊園地のアトラクションに乗っているような気分になりました。

標高約2200mの終点、西穂高口駅にある展望台からの北アルプス

の眺めは、当然ながらとてもきれいでした。第1および第2ロープウェイの往復乗車券は2900円ですが、JAF割引を利用して2600円となり、3人で900円もお得になったので、頂上の売店でお土産を購入しました。

その後、展望台からしらかば平駅まで降りてくると、特設ステージで

高山西高等学校ウインドアンサンブル部による、「春の高原演奏会」が開催されており、娘も吹奏楽部で演奏していたので懐かしい思いで聴かせていただきました。迫力ある素晴らしい演奏をありがとうございました。

次の目的地は「飛騨大鍾乳洞」(ルートガイド②)で、飛騨高山と奥飛



●飛騨大鍾乳洞の洞窟内はLEDのライティングがとても幻想的でした。気温はこの時期では寒く感じましたが…。せっかくなので、恋人の聖地の石碑の前で記念撮影をバシヤリ

騨温泉郷の中間にある全長約800mにも及ぶ、見どころが豊富な国内屈指の観光鍾乳洞です。標高900mで観光鍾乳洞としては日本一高い場所に位置し、洞内の通年平均気温は約12度Cと、真夏にはいいかと思えますが、今の季節は少し寒く感じるところです。

ここもJAF割引を利用して、入場料1100円のところ1000円となり、3人で300円お得になりました。

鍾乳洞に入る前に飛騨大鍾乳洞の発見者である大橋外吉氏が、私財により集めた美術品、装飾品、銘石、姿石、奇石、化石など約1000点(細かい物を含めると3000点余り)が展示されている「大橋コレクション」(昭和43年に観光用として公開され、飛騨大鍾乳洞に併設する形で昭和62年に開館)を見学しました。

当時の展示物の目玉である金塊100・5kg(当時約2億円相当)は、平成19年3月に白昼堂々と覆面をかぶった3人組の男に奪われましたが、その後、強奪犯が逮捕され平成20年4月に返還され大橋コレクションで一般公開されました。

金塊の一部は強奪犯によって売却されていたため、返還された金塊は71.7kgであり、バーナーを用いて溶解するという手荒な手口も相まって複数の塊となっており、強奪前の金塊を模したレプリカとともに公開